

建設技能者を大切にする企業の自主宣言

当社は、建設産業の担い手確保のため、以下のように建設技能者の処遇改善に向けて取り組むことを宣言します。

（１．労務費確保・賃金支払い等のための取組）

- 自社様式の見積書については、労務費、材料費等の内訳を明示した見積書を作成する。
- 下請事業者から提出される労務費、材料費等の内訳が明示された見積書の内容を考慮・尊重する。
 - ・ 下請事業者から提出される労務費、材料費等の内訳が明示された見積書について根拠なく値引きを行わない取り扱いを社内に通知し徹底する。
- 技能者の適切な処遇を確保するための取組を行う。
 - ・ 工事現場毎に適した熱中症対策を導入する。
 - ・ 工事現場毎に適した快適トイレを導入する。
 - ・ 原則として４週８閉所の確保を前提とした工期設定を行う。
- 担い手の育成取組を行う。
 - ・ 下請事業者の担い手に対する取組として、下請けに対して資格取得のための資金の補助を実施。
 - ・ 下請事業者の担い手に対する取組として、CCUSレベルを考慮し、下請との契約とは別に手当を支給する。
 - ・ 下請事業者の担い手に対する取組として、安全衛生等現場に係る注意に関する研修会等の実施を定期的（１年に１回以上）に行っている。
 - ・ 2012年から実施している鉄筋職長研修を今後も継続する。職長及び次期職長候補者を対象として、知識の再確認及び設計者・工事管理者とのコラボレーションを通じて、品質問題絶無のためにお互いが何をすべきかを確認する。
- 国が建設工事に従事する者の適正な処遇の確保等を図るために行う調査に協力する。

（２．建設キャリアアップシステムの活用）

- 全ての現場において、CCUS を利用する全ての技能者が就業履歴を蓄積するよう、必要な環境整備や履歴蓄積の促進に取り組む。
 - ・ 元請として受注した全ての工事現場においてカードリーダー等の就業履歴を蓄積できる機器等を設置し、工事現場において履歴蓄積を行うよう現場代理人等から技能者へ声かけを実施するとともに、CCUS未加入の下請け事業者や技能者への加入促進を促す。
 - ・ 入退場の常設機器及びモバイル機器による履歴登録環境を整備し、就業履歴を日々の労務管理に活用するように促す。

（３．宣言企業との取引優先）

- 取引先の選定に当たり、宣言を行っていることを考慮する。
 - ・ 2社以上見積を取得し、条件が同じ場合は、自主宣言を行っている会社を選定する旨を、自社ホームページを通じて周知し、協力会社向け文書「改正建設業法に伴う取引上の運用方針」に基づき、協力会社に対しても自主宣言を行うことを推奨する。

(その他)

項目	具体的な取組内容
適正な請負契約	働き方改革の観点から適正な工期を設定すること
労働安全衛生	安全確保のため必要な装備品等を支給すること
生産性向上	現場作業におけるICT化を推進すること
戦略的広報・若者育成	入職者の拡大を図るため、中高生向けイベントを実施すること
外国人活躍	外国人就労者の就労環境の向上に取り組むこと



宣言日 2026年6月30日
宣言有効期間 2026年6月30日～
取組開始日 2026年7月1日
企業名 (株)竹中工務店
代表者名 丁野 成人

取組開始日は、本宣言に記載されている複数の取組のうち最も開始が遅い日付を示している。
また、宣言日から1年以内で設定が可能な日付である。